



# 12年前日記

---

2000年1月14日  
(金)

---

山田夫妻

---

『12年前日記 2000年1月14日(金)』

【2000年1月14日(金)】\*2012年1月14日(土)記

朝11時、遅起きで朝もはよから、三日坊主にならずにさっそくの不良ぶりを発揮。そうさ、「今日の不良ぶり」も四日目突入！ ちなみに連泊ゆえ350B也。 11時30分。時は金なり。すぐにお出掛けの用意をして、朝昼兼用の8番ラーメン(107B)。食後の読書。読書後のタバコを吸いながら、今日は大嫌いなアメリカンなことをしてやろうと悪巧みを駆け巡らせる。 100ドルを銀行で両替(3712B)。大事件が起きる。チェンマイウ●コ事件を髣髴いや、凌駕するような。 とココでいきなりですが悲しうれしなお知らせです、まもなく最大の見せ場、やっぱ二番目か、少なくとも前半戦のクライマックスがまもなく訪れようとしています。心の準備はいいかい？ ワルなので結論から言うが、なんと犬に噛まれたのだ。そう、政府の犬の襲撃を受けたのだ。スパイ、隠密、密偵、権力の走狗に狙われた、特徴はまず瘦躯で、毛深く、足が4本だわん。 のんきに昼マック世界記録更新の日々の陰で、とある世界的陰謀が進んでいたことを当時の俺は知る由もなかった。歴史の闇に埋もれた前世紀最大の遅れてきた大スクープ...前世紀って20世紀のことね。俺がホテル替えをしつこく繰り返した理由が絵空事ではないことがよく分かるはずだ。俺が用もないのに古本屋とマックをウロウロ毎日ウロウロしていた巧みなカモフラージュをついに見破られたのだろう。なるべく自然を装ってウロウロしていたが、敵もさるもの。いつものように、ホテルから古本屋やマックや8番ラーメンの行き帰りに必ず通る、歩道橋の階段下に母犬と子犬がいた。いつもそんな様子を見て和ませて貰っていた。犬嫌いだけど。事件らしい事件は母犬に噛まれたことくらい、歩道橋の階段裏に幼子を何匹も抱えた母犬がいるのを知っていて、そこを通るたびにほほえましい気分でくせえなあと横目で眺めていたのだが、ある日突然ガブリ。「てめえ、どこの組の、何中の回し者だわん？」とかまれながら誰何。しかし、無言。かまれた足をブルンブルンと振る。牙が外れた瞬間、もう片方の足でクソ野良犬の喉元を蹴り上げるようなことはせず、はい、一目散に逃げる。 どうやら子犬に危害を加える危険人物と間違えられたみたいだ。母犬に噛まれる、母は強し。 ウワッ、トレンディドラマみたい。 飼い犬に手を噛まれた気分、足だけど。 幸い足元のオシャレで、いつもトレッキングシューズをはいていた、みんなサンダル履きのクソ暑いタイでね、しかも狂犬病の予防注射までも受けてたし、俺が本気だった証左だ。 トレッキングシューズはジャングルを従軍して歩くためさ、まずは形から、病は気からタイプですから、自分。 こんなときも想定してトレッキングシューズを履き慣らしていたのだ。仮に牙が肉に食い込んでも、厚手の靴下、更に狂犬病の予防注射もしてあるから3重に大丈夫。こんなの想定済み。 野良犬に咬まれることくらい軽く想定し、二重三重の用意をしてあった。俺は本気だ、伊達や酔狂じゃない、証拠はトレッキングシューズを履いてなくても、厚手の靴下をはいてなくても、あらかじめ東京さで狂犬病の予防注射をゴルゴと一緒に打ったから、たぶん同じ注射を使いまわして、きっと針くらいは替えたと信じたいところ。 名誉の負傷。労災。仕事に怪我はつきもの。ラフプレー。うちの大切な商品によくも手を出しやがったな。体が資本だ。この野良犬、人様の大事な商売道具のトレッキングシューズに何しやがる。自称プロ戦場特派員生命の危機。 このままじゃまさ

に犬死、野良犬に噛まれたと思って状態。まさに野良犬に噛まれたと思って諦めなよ状態だが、野良犬だからこそ、ゆ、許せんワン！ チェンマイうんこ漏らし&野良犬に噛まれたはタイランドの日本国家侵略に匹敵す、俺は日本代表だぞ。恐るべし、国家の陰謀。 並みの自称プロ戦場特派員じゃ、泣いて、負け犬のように尻尾を巻いて、そのまますぐ日本に逃げ帰っていただろう。しかし俺はかろうじて踏みとどまった。土俵際ギリギリ。 13時30分。泣きながらホテルに戻り、トレッキングシューズをチェック。歯形が…。このタイでずっとマジメにはいてよかった。まあ、この一足しかないんだけどね。厚手の靴下も1着だから毎日一張羅。たまに夜洗濯してたけど、朝には乾くから。そして、肌にうっすらついたようなついてないような歯型のさきちょをサスサスしながら、バカ高いボッタクリ狂犬病の注射打ってきてよかったと元は取った気分。 犬に噛まれて死んだら、行くぜ、ちゃんと付いてこいよ、まさに犬死に！ ロマンティックにヒロイズムに酔えない。 もうちょっと上だったら、脛に傷を持つ男に、ちょっとかっくい〜、でも傷モノにされちゃうには代わりなし。もうお嬢さんにいけない。 しかもトレッキングシューズのおかげかせいで、名誉の負傷により勇気ある撤退も叶わず。 俺にとっての、世紀を跨いでの、二世紀を股にかけた、遅れてやってきた恐怖の大王が降ってくるだ、アルマゲドンだは野良犬でしたとき。しかし、このメス犬のおかげで、悪運の禊が済んだのか、女運だか女難の相だかが赤丸急上昇、今後の流れは要チェケラ！ つらいいたい現実から逃避するために読書読書読書。読書感想文。鮫島、後ろ後ろ！ 17時30分、読書を終わると突発的な禁断症状に襲われる。すわ狂犬病発症！ 慌ててホテルを飛び出し、スカイトレインに乗り込む(25B)。 昨日の古本屋の扉を開けると、タイ人の女性店員がまた今日もいらっしまったわ、読書家のインテリね、あ、まさか私にホの字って顔で俺を見つめるので、ニカッと笑ってあげる。スターもつらいぜ。金もあるところを見せ付けるため、240Bもの本を買い込む。スカイトレインに乗り込む(25B)。ホテルに帰る前に焦らしプレイ。たまにはマンネリ打破のため、気分だ趣向だプレイだを変えるために、夕飯に夜マック(102B)。あんたも好きねえ〜、この好き者め！ 21時、でも、やっぱしマンネリが一番だわ。セブンイレブンに立ち寄って(49B。ニーゼロイチニーの俺です、いつもより大人買いだけど何を買ったのかしら、でもメモに書いてないし、12年前に買ったものなんて覚えてないし、これだから24歳のガキなんてダメなのよ、何の本を買って、それぞれいくらかくらい書きなさいよ。兼業主夫としては許せませんことよ)、ホテルに戻る。ああ、忙し忙し、洗濯して、シャワーを浴びて、読書。 3時、ちょっと更生して、昨日よりは早寝。ああ、今日も一日、労災にもめげずに、がんばって仕事した。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ〜。

『12年前日記 2000年1月14日（金）』

<http://p.booklog.jp/book/42421>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/42421>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/42421>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.